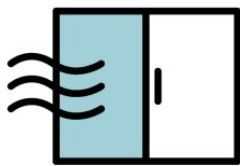


## パンセ武庫之荘 もうすぐ丸3年 理事の今の思い

**都** 市生活コミュニティセンター理事長の林です。

今年度は「コロナ」の影響で、総会も従来の形では開催することが出来ず、会員の皆様にお会いすることも出来ず半年が過ぎてしまいました。



ニュースを発行して皆さんにご支援頂き立ち上がった介護施設「パンセ」のご報告も出来ないまま日が過ぎてしまいました。

お陰様で「サービス付き高齢者向け住宅」は満室で、さらに17名の方が申し込んで待っておられます。皆さんお元気で3度のお食事がとても美味しいと喜んで下さっています。できるだけ都市生活の消費材を使って「パンセ」で調理しています。

組合員の方も沢山働いて下さっていますので、食事はとても美味しいです。

1階では「小規模多機能型居宅介護」でディサービスを行っています。ディサービスはご近所にお住まいの介護認定を受けておられる方達が利用されています。24名の方が登録されています。

今年に入って職員の移動があったり、コロナ対策が大変ですが、やっと職員体制も落ち着きました。



コロナ対策は施設内にコロナがはいったらいけないので、訪問される方への対応・職員の体調管理、施設の中の定期的消毒と気の休まる時がありません。



コロナが出る前は1階でご近所の方達がいらして皆さんで歌を歌ったり、体操をしたり、フラダンスを披露して下さったり、紙芝居とか、色々な方達が来て下さって、皆さん楽しんでおられました。また都市生活の組合員さんがお抹茶を立てて下さって、美味しいお饅頭に舌鼓をしてとても喜んで頂いていましたが、それもままならず、早く元の生活に戻れたら良いのに・・・と願っております。  
(林佳子・都市生活コミュニティセンター理事長)



### 介護職員募集中

小規模多機能型居宅介護パンセ武庫之荘

☎ 06-4950-5103

## 会員更新のお礼

このたびは、2020年度会員の更新をして頂きまして誠にありがとうございます。

みなさまからのご支援は今後の活動に有効に活用させていただきます。大変遅くなりましたが、紙面をもって厚く御礼申し上げます。  
(都市生活コミュニティセンター理事一同)

### 表面からのつづき

**早** いもので、パンセ開設から今年12月でまるまる3年になります。

利用者様も御高齢なので、同じ顔ぶれというわけにはいきません。

毎月の平均利用者様は24名です。最高齢者、以前は97歳の方がいらっしゃいましたが、現在は94歳の女性3人となっています。コロナのおかげでイベントもなく、カラオケもできず、音楽(歌謡曲)鑑賞の毎日です。



変化のない毎日を少しでも楽しく過ごしていただきたいと、厨房メンバーがおや

つをできるだけ手作りしようと努めています白玉ぜんざい、わらび餅、アップルケーキ、マロンケーキ、バナナケーキ、ミニどら焼き、たこ焼き、etc.。飲み物はコーヒー、紅茶、ミルク、煎茶。

利用者様の一番の楽しみは、お食事です。

1番人気の巻きずしは献立表を配った日から「巻きずし、あった」と楽しみにされています。御高齢でも一口で食べられるように工夫しています。

(佐々木京子・パンセ武庫之荘ホーム)

**と** きどき「『パンセ』ってどういう意味？」とたずねられることがあります。「パンセ」とは花のパンジーを指すフランス語です。こう説明すると、「ではなぜ、そのような名前にしたのか？」と更に突っ込まれます。

実はパンセの名前は今から20年以上前にさかのぼります。現在のパンセが建



設されるまで、この敷地には木造2階建てのアパートが建っていました。いわゆる文化住宅です。介護保険制度が始まる前年の1999年に、私たちの仲間はこの文化住宅の一室を借りて高齢者の交流サロンを開きました。地元の自治会の協力を得て、市の補助も活用しながら2007年までサロンを続けました。今のことばでいえばミニデイサービスということになるのでしょうか。このサロンの名前がパンセだったのです。(なぜフランス語なのかについては長くなるので紙面の都合で省略します)

当時のスタッフの多くは現在のパンセとヘルパーステーションあしすとの中核スタッフとなっています。パンセという名前にはこのようなささやかな歴史があるのですが、それが現在の私たちのケアに活かされているのかどうか、ぜひ一度現場をお訪ねください。

(池田啓一・パンセ武庫之荘ホーム管理者)

## ヘルパー募集中

都市生活ヘルパーステーションあしすと武庫之荘

☎ 06-6433-8487